

さんじょう 市議会だより

2016
11.1
No.22

行動の秋



さんじょう108appy



三条かぐら鑑賞会



きっかけの1歩事業

議会を傍聴しませんか？

次の定例会の
開催予定は

12/6火～

【今号の主な内容】

《平成28年9月定例会(9月5日～28日)》

●議案賛否一覧…………… P2

《市政を問う》

●質疑・大綱質疑…………… P4

●一般質問…………… P7

●常任委員会審査レポート…………… P12

●決算審査特別委員会審査レポート… P13

《平成28年8月臨時会(8月1日)》

●議案賛否一覧…………… P11

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話:0256-34-5583 FAX:0256-33-8861
メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

インターネットでも情報発信中!

三条市議会

検索

議 案				会派名 (下段は所属議員数)		自由 クラブ	新 しい 風	自 民 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	新 政 ク ラ ブ	公 明 党 議 員 団	議 決 結 果
区分	番号	件 名	概 要			8	5	4	3	3	2	果
その他 予 算 決 算	議第14号	旧体育文化センター解体工事請負契約の締結について	鉄骨造 3階建 延床面積 7,993.03㎡ 契約金額 1億4,958万円 契約者 小柳・長谷川特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意
	議第15号	平成28年度三条市一般会計補正予算	寄付金を受け、裏館小学校に置く図書等の購入に係る経費の追加 補正額 100万円 補正後の額 468億737万5,000円			○	○	○	○	○	○	原案可決
認 定 第 1 号	平成27年度決算の認定について (三条市一般会計及び各特別会計)	一般会計決算額 支出 487億9,313万9,232円 特別会計決算額 支出 239億5,824万9,957円				○	○	○	×	○	○	認定
	認 定 第 2 号	平成27年度決算の認定について (三条市水道事業会計)	収益的収支決算額 支出 21億3,567万3,915円 当年度純損失 2,419万345円 有収率 89.3%			○	○	○	○	○	○	認定
【議員発案】												
議員発案 第 1 号	議員発案 第 2 号	学費と教育条件の公私間格差は正に 向けて、私立高校への助成の充実 を求める意見書の提出について	私立高校生への就学支援金制度の拡充などを要望する意見書を提出するもの 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部 科学大臣			○	○	○	○	○	○	原案可決
	議員発案 第 2 号	学費と教育条件の公私間格差は正に 向けて、私立高校への助成の充実 を求める意見書の提出について	私立高校生への学費軽減制度の拡充などを要望する意見書を提出するもの 提出先：新潟県知事			○	○	○	○	○	○	原案可決
【請 願】												
請 願 第 1 6 号	私学助成の充実を求める請願	高校における学費と教育条件の公私間格差を是正するため、私学助成の充 実を求めるもの				○	○	○	○	○	○	採択



会 派 所 属 議 員												
自 由 ク ラ ブ	○阿部銀次郎	久住 久俊	佐藤 和雄	下村 喜作	熊倉 均	武石 栄二	森山 昭	野寄 久雄				
新 し い 風	○岡田 竜一	杉井 旬	名古屋 豊	酒井 健	河原井拓也							
自 民 ク ラ ブ	○西川 重則	横山 一雄	佐藤 宗司	山田 富義								
日本共産党議員団	○小林 誠	武藤 元美	坂井 良永									
新 政 ク ラ ブ	○高坂登志郎	長橋 一弘	伊藤 得三									
公 明 党 議 員 団	○野崎 正志	笹川 信子										

※○：会派の代表者

9月定例会は、9月5日から28日までの24日にわたって開かれました。

市長提出議案は、「名誉市民の決定」の人事案件、「大崎中学校区小中一体校校舍棟建設建築本体工事」などの工事請負契約の締結、旭・裏館統合保育所建設事業に係る経費や、認定こども園および高齢者福祉施設整備に対する補助金などを盛り込んだ「平成28年度三条市一般会計補正予算」約3億2600万円、「平成27年度決算の認定」など17件が上程されました。

名誉市民の決定、これに伴う平成28年度三条市一般会計補正予算および大崎中学校区小中一体校に係る工事請負契約の締結については、初日に採決の結果、同意または原案のとおり可決されました。

その他の議案は、各常任委員会ならびに決算審査特別委員会での審査を経て、最終日の採決の結果、全て原案のとおり可決、同意または認定されました。

なお、認定第1号については、議会の意見として介護保険事業の運営に当たっての附帯決議を付しました。

このほか請願の採択に伴う「学費と教育条件の公私間格差は正に向けて、私立高校への助成の充実を求める意見書」を国会および関係行政庁に対し、送付しました。

議 案 賛 否 一 覧 表													○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対	
議 案				会派名 (下段は所属議員数)		自由 クラブ	新 しい 風	自 民 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	新 政 ク ラ ブ	公 明 党 議 員 団	議 決 結 果		
区分	番号	件 名	概 要			8	5	4	3	3	2	果		
【市長提出】														
人事 その他 の 議 案	議第1号	三条市名誉市民の決定について	ジャイアント馬場(本名 馬場正平)さんを本市名誉市民として決定するもの			○	○	○	○	○	○	同意		
	議第2号	市道路線の認定について	認定路線	4路線	実延長	361.3m	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議第3号	三条雨水ポンプ場(機械設備)改築工事請負契約の締結について	No.2雨水ポンプ(φ1,800mm)用ディーゼル機関および減速機の更新ならびに同ポンプの長寿命化 契約金額 3億5,964万円 契約者 敦井産業・ケンオウ特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意		
	議第4号	大崎中学校区小中一体校校舎棟建設建築本体工事請負契約の締結について	鉄筋コンクリート造 地上4階建 延床面積 7,751.23㎡ 契約金額 15億5,844万円 契約者 本間・新潟アーバン特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意		
	議第5号	大崎中学校区小中一体校体育館棟建設建築本体工事請負契約の締結について	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階建 延床面積 3,888.96㎡ 契約金額 8億5,428万円 契約者 水倉・フタバ特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意		
	議第6号	大崎中学校区小中一体校校舎棟建設電気設備工事請負契約の締結について	校舎棟電気設備工事一式 契約金額 3億7,584万円 契約者 本間・斎藤・須藤特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意		
	議第7号	大崎中学校区小中一体校校舎棟建設機械設備工事請負契約の締結について	校舎棟機械設備工事一式 契約金額 4億716万円 契約者 ケンオウ・新潟断熱特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意		
	議第8号	大崎中学校区小中一体校体育館棟建設機械設備工事請負契約の締結について	体育館棟機械設備工事一式 契約金額 2億9,710万8,000円 契約者 ナガオケ・サカエシステム特定共同企業体			○	○	○	○	○	○	同意		
予 算 決 算	議第9号	平成28年度三条市一般会計補正予算	ジャイアント馬場(本名 馬場正平)さんを本市名誉市民として決定することに伴う名誉市民証書等の贈呈に要する経費の追加 補正額 142万4,000円 補正後の額 464億8,302万円			○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第10号	平成28年度三条市一般会計補正予算	旭・裏館統合保育所建設事業に係る経費、認定こども園および高齢者福祉施設整備に対する補助金に係る経費などの追加 補正額 3億2,335万5,000円 補正後の額 468億637万5,000円			○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第11号	平成28年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算	平成27年度の療養給付実績による国庫負担金等の償還金の追加 補正額 478万6,000円 補正後の額 113億813万4,000円			○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第12号	平成28年度三条市介護保険事業特別会計補正予算	平成27年度の介護給付実績による国庫負担金等の償還金および平成27年度決算に伴う剰余金等の介護給付費準備基金への積立金の追加 補正額 3億9,983万9,000円 補正後の額 101億7,183万9,000円			○	○	○	○	○	○	原案可決		
その他	議第13号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	加茂市・田上町消防衛生組合を加茂市・田上町消防衛生保育組合に改めること、および非常勤職員に対する公務災害等の補償に関する事務の共同処理について同組合を加えることから、新潟県市町村総合事務組合規約を変更するもの 施行期日：総務大臣の許可の日			○	○	○	○	○	○	原案可決		

3ページへ続く

平成28年
第4回

9月定例会

全議案原案のとおり決定

答 寄付額は1億8785万4000円、諸経費1億1484万4000円で差し引き7301万円、さらに個人市民税の税額控除額1569万円を差し引きすると実質的な三条市財政への貢献額は5732万円となる。

問 公共下水道事業について、巨額の投資額に見合う効果のない状況の中で、事業を根本的に見直すべきでないか。

答 持続的な公共下水道の在り方を根本的に見直すべく三条市汚水施設整備構想を立ち上げ、今年度中に議論を経て原案がまとまり次第議会にご報告申し上げたい。

問 決算審査意見書によれば、財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率は92・8%であり、公債費による財政負担の程度を示す指標の実質公債費比率は14・4%とある。今、三条市は建設事業がめじろ押しである。嵐南保育所移転改築、大崎中学校区小中一体校、旭・裏館統合保育所、加えて最終処分場、スポーツ文化交流複合施設などこれらの建設事業費を加えた場合それぞれの数値はどうなるのか。

さらに、看護系高等教育機関、実学系ものづくり大学や栄地区工業団地造成など将来の財政硬直化を懸念す

答 財政指標の見直しについて、経常収支比率は平成32年度まで悪化し約98%に上昇。実質公債費比率においては平成34年度まで悪化を続け、約17%になるがその後改善する。

また、高等教育機関などを加味した場合の見直しについて、概算で経常収支比率は平成32年度で前述の数値より約0・6ポイント、実質公債費比率は平成34年度で0・5ポイント悪化するも、ここがピークであり財政規律の基盤は保たれる。

問 財政調整基金について、財政調整基金残高が73億円を超えた。新経営戦略プログラムの目標に対して1・6倍。余剰金があれば余るのは必要な行政サービスが行われなかったためではないか。

答 新経営戦略プログラム策定時に見込んでいなかった政策等に取り組むため目標を上回る基金を確保している。

問 さんじょう一番星事業について、受講生が定員の半数にも満たない。特に民間業者に委託している教室は定員の3割に満たない。また難関大学合格を目標としながら高校生は対象外。成果の検証ができないのでは。

答 毎年課題を検証し改善を講じている。受講者数について課題が

残っている。

学習意欲や自信を付けることを目指しており高校生は対象外。

問 時間外勤務の多い職場、またその多い要因は何か。

答 年間トータルの時間数で比較すると、上位から順に行政課の974時間、建設課の966時間、同じく905時間、同じく769時間であり、行政課は公共施設等総合管理計画の策定などに、建設課は公共施設包括的民間委託に関する検討などに要した。

問 分担金および負担金について、保育所運営費負担金の収入未済および不納欠損の増加要因は。

答 収入未済の主な要因は、生活困窮が大半で金額ベースで98%を占めており、他は転出等による。不納欠損については、全てが生活困窮による。

問 移住促進事業について、移住促進事業の成果と今後の取り組みについて。

答 移住イベントの出店は9回参加し、55人から移住相談を受けた。今後情報発信を継続して実施することと認知度を高めていきたい。

移住支援相談は6件あり、結果、男性1人、女性1人が三条市に移住され、企業へ勤務または自営業を営まれており、一定の成果があったと認識している。

問 地域産品販路開拓・ブランド発信事業費について、地域ブランドと三条産品の販路開拓を目的に出展やイベント参加された中、新たな取り組みはどうか。

答 「二ホンバシ46ドゥフケン」への出展である。日本橋で働く地域へ三条産の食材で朝御飯を提供し、当地域への誘客を図っている。

問 商工業活性化事業費の海外販路開拓調査業務委託料について、ベトナムやロシアを対象に調査、販路開拓戦略を構築した成果はどうか。

答 ベトナムやロシアとも調査を実施した。ベトナムにおいては、現地の小売業界の現状を把握して三条産品の販路開拓に結び付けている。ロシアにおいては、三条産製品の内覧会を実施している。

問 キッズニア事業について、ものづくりの魅力を伝えることについてどう評価しているのか。

答 4コース、32種類を実施し、469人が参加している。ものづくりを子どもたちから理解、体験することで対価を得ることに対して高い評価を得ていると理解している。



？を問いました 質疑・大綱質疑

9月定例会では、全会派が質疑・大綱質疑を行いました。

議第4号・5号

問 裏館小、一ノ木戸小、第一中・嵐南小と学校建築が続いてきた。今回の大崎中の工事費はこれまでと比べ高いのか低いのか。またその要因は何か。

答 大崎中の工事費単価は約29万円。これまでと比較して2万円から8万円ほど高い。主な原因は全国的な工事費の高騰によるもの。

問 大崎中学校区小中一体校の校舎棟・体育館棟に関して質疑を申し述べる。

ラウンド数値で9億5000万円の申請額に対して認定額は3割カットの6億6000万円、絶対額で2億9000万円の減額認定であった。減額は財政調整基金の取り崩しと市債発行により補填するということ。質問をする。

文部科学省は「減額と言ってもらつては困る」一平方メートル当たりの標準補助単価を新年度の4月1日に通知している。そのことを知らなかったのか。

答 あらかじめそういった単価が示されているとは認識していない。

問 補助申請はいつ行ったのか。

答 4月15日付けで申請した。

問 「多くの市町村ではゼロ回答で未採択の所もあった」と前回答弁がありました。事実ですか。

答 減額せざるを得なかったというふうな事情があったものだというふうに認識している。

問 質問に対して適切に答弁ください。

答 減額をせざるを得なかったというふうな事情があったものだというふうに認識をしている。

議第10号

問 認定こども園運営費について。（仮称）松葉こども園の施設整備の具体について聞く。

答 現在の園舎の隣地に鉄骨造2階建て、延べ床面積1077・90㎡で新たに建てる。平成29年度7月完成予定である。幼稚園部分と保育所部分を合わせて120人の定員で、3歳未満児は27人の定員である。

問 医療体制確保対策事業費について。

下田地域に開設を予定している診療所の医師募集について、紹介業務を委託するということが、医師紹介までの具体の流れは？

答 一例として業者が候補者リストを作成し、面談、意向確認をした上で当市に紹介される。

議第14号

問 旧体育文化センター解体工事請負契約の締結について。

答 予定価格の算定根拠は何か？

答 予定価格の算定根拠は3者から見積もりを取り、一番安いところを基準にした。

認定第1号

問 平成27年度関係決算について、8年間の総合計画の初年度に当たって、どういうスタートダッシュが切れたとお考えか。

答 総合計画は少子高齢化社会に適応しつつ、将来にわたって持続し続けていくことのできる力強いまちを築いていく施策の体系として策定した。その成果は、長期的な視点に立って見ていかなければならない。総体としては、初年度着実な一歩を踏みだすことができたと考えている。

問 ふるさと納税について、三条市財政への実質的な貢献度はどうか。

第4回定例会の議決に当たり、 次の意見を付しました

認定第1号 平成27年度決算の認定についてに対する附帯決議
三条市介護保険事業の運営に当たっては、次の事項を踏まえること。

記

1 介護保険事業は現在、平成27、28、29年度の三か年を計画期間とする第6期計画に基づいて運営している。この計画で定めた介護保険料は、平成27年3月定例会で引上げし決定したもののだが、介護保険事業特別会計は見込みほど支出が増えず、平成27年度決算は3億9905万3279円を翌年度に繰越し、2億3230万円を介護給付費準備基金に積み立てる結果となった。

この結果、平成27年度末の同基金残高は10億4242万1000円に達し、平成28年度補正予算の段階で13億円に達する見通しになっており、今後平成28年、29年と対象者が増えていく分を取り崩していっても、平成29年度末の残高見込みは9億2100万円になることから、適正な基金水準の5億6000万円を差し引いても3億6100万円の余裕がある見通しになっている。

三条市の介護保険料は現在、平均月額5305円となっている。県内では比較的低いほうとはいえ、この負担を重く感じている市民も多く、特に国民健康保険加入者は国保税と介護保険料の負担を少しでも軽くしてほしいと強く願っている。こうした状況に鑑み、現在は第6期計画の途中ではあるものの、介護保険事業特別会計の収支バランスを考慮しつつ、平成30年度からの第7期計画を待つことなく、平成29年度予算編成において市民の負担軽減のため、介護保険料の引下げを検討すること。

討 論

日本共産党議員団

認定第1号平成27年度決算の
認定について反対

一般会計、期限付き任用職員制度は行政が率先して不安定雇用を進めることになる。商工会議所への補助金は商工行政を丸投げるものだ。また、教育費のうち「さんじょう一番星育成事業」は一部の子どものみを応援するもので、公教育の役目ではない。小中一校施設整備費の融雪装置は、議会に全く説明されずに議決されるという事態となり大変問題だ。

国民健康保険事業特別会計は、赤字解消のため保険料の連続値上げがされてきた。平成27年度は国保の広域化に合わせ1.4%の値上げに抑えられたが、被保険者の負担は限界にきており、少しでも保険料を引き下げるべきであった。

後期高齢者医療特別会計は、75歳以上の高齢者だけの保険制度のため、保険財政の収入が少ない一方で医療費がかさむなど支出が大きいため、制度自体が脆弱な仕組みであり、制度の廃止が必要であると考えます。

介護保険事業特別会計については、保険料の値上げの一方で給食サービスを廃止した。安心した介護をうたいながら無慈悲なやり方だ。

自由クラブ

認定第1号平成27年度決算の
認定について賛成

平成27年度予算は、合併算定替えの終了により一般財源の確保が難しくなる中、総合計画に基づく施策を初年度から実行していくため、国の経済対策を最大限活用して予算編成、予算執行に努められたと思う。自主財源の柱である市税収入の伸びが見込まれない中、新経営戦略プログラム等に基づく改革の成果として実質公債費比率は横ばいであったが、経常収支比率や財政調整基金残高は改善傾向にあり健全財政の堅持にしっかり取り組んできたことを確認した。

反対討論で述べられた商工会議所振興事業補助金や特別会計の国民健康保険事業、後期高齢者医療および介護保険事業については歳入歳出いずれも瑕疵なく、適正に執行されており認定すべきである。加えて決算審査特別委員会で附帯決議を可決した介護保険事業については、第6期計画期間の平成29年度末に基金残高が9億2100万円になることから次期計画を待たず平成29年度から保険料の引き下げが実現することを望むものである。

一般質問

ダイジェスト

市政の
？を
問いました

議員と行政の

Q&A

経済的格差が広がる中、子どもの貧困問題をどう考えるか

問 三条市の子どもの実態はどのようなになっているか。

答 子どもの貧困率は把握できていない。今年度県が実態調査をする。この結果を踏まえ県央圏域の実態を把握できると考えている。

問 ひとり親世帯の経済状況は大変厳しい。公営住宅の優先入居はできないか。

答 住宅に困窮される実情はさまざまで順位付けはできない。優先的な入居は不可能だ。

問 困っているにも具体的な支援制度を知らないという声もある。時間外の相談受け付けを考えてはどうか。

答 閉庁後の相談は今後検討したい。

さらなる介護保険改善が！

問 国は平成30年度から介護保険の福祉用具の全額自己負担を狙っている。福祉用具は命綱である。市として対策は考えているのか。

答 現在審議中であり、市としては全く白紙の状態だ。

ゴミ袋高いー引き下げてー！

問 市民からゴミ袋代が高い。引き下げてほしいという手紙が届いた。

答 この願いに応えられないか。

ゴミ袋代はゴミ袋製造代ではなく収集、処理の経費も含まれている。値下げは考えていない。

県央基幹病院、看護系高等教育機関、実学系ものづくり大学と都市計画事業の見直し、整備促進について

問 10月に新知事が誕生する中で、県央基幹病院の開院時期への影響をどう考えるか。また、看護系高等教育機関と実学系ものづくり大学の開設目標年次、用地は借地か購入か。市街化調整区域の設定と未利用地の解消を図るべきである。須頃郷の農地は70ヘクタール。県央基幹病院などはこの中に設置されるのか。商業施設もにぎわっており、企業設置奨励条例を拡充すべき。都市計画道路の整備促進をどう考えるか。

答 知事が代わろうとも開院時期が示されているので、粛々と進んでいくものと思う。一年でも一日でも早くしてもらおうという願い、県の動向を注視していく。看護系高等教育機関も実学系ものづくり大学も検討委員会を立ち上げ、両方とも県央基幹病院建設予定地の隣接地に平成32年度の開学を予定している。NSGグループと市が公立学校法人を設立し運営する。用途地域の見直しとともに未利用地の解消

広報広聴について

問 市民に分かりやすく伝えるという観点で、どのような戦略で広報広聴しているのか？

答 知らせたい情報を時期を逸することなく効果的に伝える必要がある。市民目線に立ち、従来から広報さんじょう、ホームページ、燕三条エフエム放送、記者会見、出張トークなどを行っている。昨年から新たに子ども広報を、今年度からは声の広報さんじょうについて専用CDのほか一般CDを配布し、市のホームページからは音声サービスを開始した。

青年就農者の育成を

問 農業従事者は高齢者が多く離農が進んでいる。親元就農を含め青年就農について支援をすべき。

答 青年就農者に水田作付面積の特例枠を設けてはどうか。価格決定力のある農家を育成するために独自の支援を行う。親

元就農の支援は考えていない。
水田面積の特別枠は三条市農業
再生協議会で議論したい。

栄パーキング下の駐車場拡張を



満車の栄パーキング下の駐車場

問 高速バス栄バス停の利用者は増えている。栄工業団地の計画もある中、下の駐車場を拡張するべきでないか。

答 今後の検討課題と考えている。

給食費に補助

問 学校給食費に補助をするべき。
三条市の給食費は県内でも低い方。新たな補助は考えていない。

制度融資の新設を

問 今年3月に新設された条件変更型保証を活用して、制度融資を新設するべき。

答 複数の借入金を一本化できるが計画的に報告する義務が生じるなど負担も大きい。新設は考えていない。

児童の路線バス利用からスクールバス運行へ

問 児童の安全のために路線バスをスクールバスにしていくなか、ないか。

答 公共交通がない場合のスクールバス運行である。

三条市における観光資源の魅力向上について

問 10月に日本の風の会2016年度秋季大会が開催され、工場の祭典と同日ということからも県内外から多くの観光客が来ることが予想される中、市として各関係団体と連携を図りながら三条の風合戦の周知、三条の魅力発信に取り組むべきではないか。

答 風合戦と工場の祭典とともに戦略的に発信することで、相乗効果が得られるよう取り組む。

地域おこし協力隊について

問 国の起業支援制度等を活用しながら協力隊員の定住促進に取り組んではどうか。

答 行政機関が行う補助制度のみならず民間団体が行う助成制度等を活用していきたい。

こども食堂について

問 三条市においてこども食堂を開設する団体等に対し、情報支援、人的支援、広報周知等を含めてこういった連携を図っていくのか。

答 市民への周知や国の基金制度についての情報提供、またさまざまな支援制度に関するチラシ等をこども食堂に設置するなどの連携を図っていく。

年度途中での待機児童解消について

問 保育所入所における年度途中の待機児童の解消について、どのように検討してきたのか。ま

人口減少対策の抜本的な見直しについて

問 国勢調査や人口推計年報を参考にすると、三条市の人口は、2100年には3万1000人になる。月額5万円の子ども手当を支給すべきと考えるがどうか。

答 国に先駆けて迅速な手を打つことで効果を示し、国県が後追いつてくるのが順当な手法ではないか。

問 一つの施策で劇的な効果が得られるというのは難しい。複合的政策の組み合わせで人口減少対策につなげていきたい。

今後の財政について

問 財政調整基金の重要性についての認識はどうか。

答 将来にわたって質の高いサービスを提供し続け、かつ災害や社会経済などの変化に柔軟に対応できる財政運営を行うためには、収支バランスの変動を中長期に見通し、将来想定される財政負担に備えて財政調整基金を確保しておかなければならない。その残高については、重要な指標であると捉えている。

県知事選の対応について

問 森前長岡市長が新たな知事に適任であると考えているのか。

答 泉田県政の根本的な問題点は、国、市町村、他県、県職員との信頼関係が構築できなかったこと、森前市長であれば失ってしまった各方面の信頼関係を取り戻すとともに、広域自治体の長としてリーダーシップを発揮され、我々をバックアップしていただけると認識している。

建設行政について

問 建築確認申請に対する審査が厳しすぎるのではないか。

答 増改築であっても基本的には既存の部分も含めて現行の法律に合わせる必要がある。敷地内の土地の測量、構造物の位置など

有害鳥獣被害と対応について

問 今秋はクマ等の大量出没が懸念されている。対策を問う。

答 危険度に応じレベル1から4まで設定し、対策を行っている。捕獲したクマはどうするのか。全て処分としている。



里に下りてきたクマ

た、今後どのように対応していくのか。

答 年度途中の待機児童の発生をゼロにするため、来年度予算の中で対応していく。年度途中で必要になるであろう保育士をある程度加味した人員を確保しておくき、対応していく。関係部局とさらに制度設計について詰めていきたい。



子どもを待つ保育園

水害対応マニュアルについて

問 下田支部は技術職員がおらず、地区外の職員も多い。対応を問う。

答 本部と連携、研修の充実等に対応する。職員は地区在住が基本、地区外は下田サービスセンター勤務で支障はない。



下田支部

OB職員を活用したらどうか。

答 技術職員OBの活用の可能性を含め、広範に検討する。
問 復旧の単価契約はしないのか。
答 災害に単価契約はなじまない。

国保後期高齢者医療制度の
葬祭費

問 最後まで面倒を見てくれる人がいない高齢者が増えている。葬祭費を増額する考えはないか。

答 葬祭費の一部としての支出であり、現状が適切と考えている。

職員の休日・祝日出勤について

問 土日・祝日勤務の増加が時間外勤務の一因となっているのでは。年間勤務時間に対しわずかなる。

答 民間委託等を活用してはどうか。費用対効果が限定的である。

「第一中学校区小中一併校」に関して

問 一中預かり金返金遅延問題
新潟県教育委員会の調査進捗状況もしくは結果は怎么样了のか。

答 「懲罰処分には当たらない」との県教委からの通知を頂いた。

問 石本建築との調停進捗状況は。調停に関わる内容になるので、答弁を控えていただく。

問 プールの改修状況は。

答 現状復帰できた。

問 「追加改修工事」に関して。グリーストラップは室内で問題がないという判断で設置したが、臭気が問題になり夏休みに屋外への設置工事を施工した。ひさし工事も問題点の解決のために施工した。

問 「魅力ある給食の提供」をどのように考えるか。

答 「食育」を学ぶ教材と考える。いろいろな工夫を現在も重ねている。

「ドリンクタイム」のメリット・デメリットは。

答 米飯給食の特徴である「口中調味」が行いやすくなるために子どもたちの味覚の形成、食文化の継承にも有効」と考える。デメリットは、牛乳嫌いな子や低学年に負担になっているのでは。

住宅リフォーム助成制度創設について

問 過去5回、リフォーム助成制度創設について質問してきた。実施できないのは、税金の一部が個人の資産増となる制度は行えないとの理由だった。しかし、他の多くの自治体では実施している。個人の農地の災害復旧や

答 住宅再建の支援にも税金が使われている。広い意味での生存権の保障として税金が使われている。そのような見解もある中で制度の実施はできないか。

答 災害復興などの社会的意義のあるものであれば支援をするが、住宅リフォームについては考え方が違うと理解している。

川通どれみ保育園について

問 6月定例会で指摘した事例について、その後のような対応をされたのか。

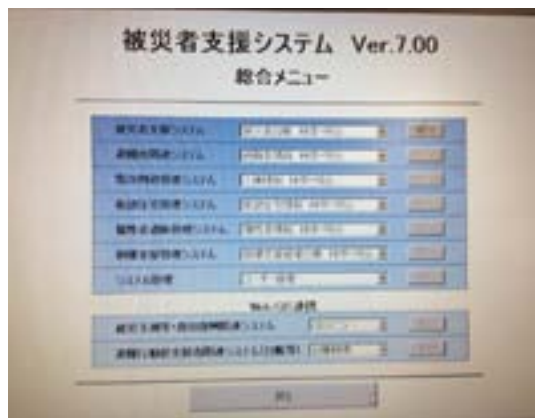
答 指摘を受けて訪問し、保育の状況を確認した。保護者や地域から信頼される保育園となるよう指導した。また、今回の件は子育て支援課にも相談があった事案。今後とも保護者からの相談内容をしっかり受け止め保育園と一緒に解決していく。

被災者支援システムの導入・運用について

問 システムの研究はどう進んでいるのか。

答 昨年度、研究会で先進地視察やシステムのデモンストレーションなどを行い調査、研究を進め、

全国的な普及率、また既存システムとの運用の容易性や豊富な機能、さらには導入、運用コストが低廉なシステムを導入した。



三条市の被災者支援システム

スマートウェルネス三条について

問 高齢者の外出促進などを培ってきたソフト事業を、今後さらにどのように取り組んでいくのか。

答 さまざまなことに関心があることから、大きなものばかりではなく小さなこと例えばやさしい紙工作や、縁側将棋など立ち寄ったときに簡単に楽しめるものも取り入れている。

問 取り組みの検証について、分析内容では医療費の増加傾向が抑

子どもの貧困について

答 制されたとしているが、どう認識しているのか。

答 データ分析を見る限りここ数年積極的に取り組んできたものと、相乗効果により医療費の面でも効果が出てきたものと考えている。

問 近年子どもの6人に1人は貧困である。市の子どもの貧困状況はどうか。

答 生活保護世帯は、平成27年度末では469世帯、そのうち18歳未満の子を含む家庭は32世帯、子どもの数は57人で全児童生徒の0.7%。

問 子育て支援策に子どもの貧困への対応が必要ではないか。

答 今年度就労支援策として、ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援制度を新たに設けた。

問 子どもの居場所として、夏休みに公民館を開放したと聞く。調理実習など公民館事業として実施してはどうか。



新発田市のこども食堂

看護系高等教育機関について

問 平成32年4月開校予定の開設備状況はどうか。

答 公設民営で、有力な運営候補者はNSGを考えている。場所は、県央基幹病院予定地の隣接地に開設を考え、農振除外の一連の手続きに向けて協議に入っている。

8月臨時会

平成28年
第3回

第3回臨時会が8月1日に開かれました。

この臨時会では、水害により甚大な被害を受けた三条市の友好都市である中華人民共和国の鄂州市に見舞金を送るほか、大崎中学校区小中一併校建設事業に係る国の負担金の交付内示を受けたことに伴う財源更正を行う平成28年度三条市一般会計補正予算、熊本地震の被災家を調査するため宇土市へ職員を派遣するとともに、益城町等の被災地に対し三条市に寄せられた寄付金を見舞金として送るほか、荒町ポンプ場の2台の雨水ポンプのモーター等に不具合が発生したため、修繕に要する経費を盛り込んだ平成28年度三条市一般会計補正予算の専決処分報告の2件が上程されました。

議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対



議 案			ラ ブ	い 風	ラ ブ	議 員 団	ラ ブ	員 団	結 果			
区分	番号	件 名	概 要			8	5	4	3	3	2	
〔市長提出〕												
予 算	議 第 1 号	平成28年度三条市一般会計補正予算	水害により甚大な被害を受けた鄂州市に見舞金を送るほか、大崎中学校区小中一併校建設事業に係る国の負担金の交付内示を受けたことに伴う財源更正を行うもの 補正額 100万9,000円 補正後の額 464億8,159万6,000円			○	○	○	○	○	○	原案 可決
専決 処分	報 第 1 号	専決処分報告について(平成28年度三条市一般会計補正予算)	熊本地震の被災家を調査するため職員を派遣するとともに、被災地に対し寄せられた寄付金を見舞金として送るほか、荒町ポンプ場の雨水ポンプの修繕に要する経費を追加するもの 補正額 2,163万5,000円 補正後の額 464億8,058万7,000円 専決処分した日:平成28年7月8日			○	○	○	○	○	○	承認

決算審査特別委員会 審査レポート

総務文教分科会 岡田竜一 主査

教員住宅 被災者等対象者を限定し有効活用へ

歳入では、ふるさと三条応援寄附金について、寄付に当たっての使途希望は子育てや地場産業の育成にはあるが少なく、約90%は希望なしである。また、三条市民がよそに寄付する金額は約3,780万円で、税額控除額を計算すると約1,570万円の減収であるとのことでした。

歳出では、コンビニエンスストア収納業務について、納税者の利便性が格段に向上したが、直接収納率の向上には結び付いていないとのことでした。

また、年中児発達参観について、成果は支援が必要な子に早く気づき、個別支援が必要と判断した場合、発達ルー

ムでの療育や医療機関への受診につなげている。保育所でもその子にあった支援計画を保護者と一緒に作成し、保護者と連携していく形ができてきているとのことでした。

また、教員住宅の在り方について、昨年度入居者資格について被災者や地域おこし協力隊員など対象者を絞った中で、期限を設けて有効に活用するため規則を改正した。廃止やさらなる活用について引き続き検討させていただきたいとのことでした。

市民福祉分科会 笹川信子 主査

県央医師会応急診療所に加茂市は応分の負担を

まちなか交流広場ステージえんがわの成果について、オープンを機に外出するようになった人がどのくらい居るのかといった三条小学校区の実態をアンケート等により調査し、適切な把握に努めたいとのことでした。

県央医師会応急診療所に加茂市からいまだ応分の負担がないことについて、県央基幹病院の方向性が決まった今、県央地域の市町村が足並みをそろえて医療体制の整備に取り組むことが肝要。平成25年からこれまで4回にわたって要請してきたが、今後は構成市町村と協議の上、より強い対応を行いたいとのことでした。

経済的な事情で改善が困難な空き家所有者への支援について、自ら適正に管理している所有者との間に公平性を保てず、モラルハザードを引き起こす可能性もある。実施中の空き家実態調査の結果を踏まえ、今後空き家等審議会などで検討していきたいとのことでした。

遺跡発掘調査に多額の経費と長い期間を費やしていることについて、文化財保護法に基づき、開発事業により失われる可能性がある先人の足跡を調査、保存する必要があるため行っているものであり、ご理解願いたいとのことでした。

経済建設分科会 坂井良永 主査

持続可能な汚水処理施設整備に向けて前進

農業担い手確保育成事業について、一般的な育成には国や県の補助事業を活用できる中、三条市は価格決定力を持つことができる農家の育成を目指しており、県外の先進的農家を研修先を選んでいくとのことでした。

6次産業化取組支援事業について、3カ年計画の事業でわずかながら前進が見られたと考えており、事業終了後は国や県の補助事業に誘導していきたい。意欲ある農家を掘り起こし、しっかりと寄り添うところからスタートしたいとのことでした。

雪の降り方が変化し、除雪業者による機械の維持が困難

な場合があることについて、各種除雪機械を市で購入もしくは借り上げ、これを業者に貸与して労務のみを提供いただく対応をしているとのことでした。

公共下水道の延伸を次々に進め、市民負担が増大している現状について、将来世代に多大な負担を強いけない持続可能な汚水処理施設整備の在り方を検討するため、今年度中に委員会を設置する。公共下水道や合併浄化槽の経済比較を行い、事業を推進するエリアを定め、今年度中に議会にも報告したいとのことでした。

常任委員会 審査レポート

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

総務文教常任委員会 岡田竜一 委員長

B型肝炎の予防接種 定期接種へ

議第10号平成28年度三条市一般会計補正予算では、国の保育所等整備交付金が減額された理由について、今年度に入り、すぐに着工したところは国の保育所等整備補助金で、着工までに少し時間のあるところは補助内容の同じ県の安心こども基金補助金で対応すると県から割り振られた結果であるとのことでした。

また、旭・裏館統合保育所の基礎工事が条件の悪い冬場となることについて、具体のスケジュールは請負業者決定後に詰めていくが、建築課とも協議し、十分配慮して進めていきたいとのことでした。



また、予防接種事業費ではB型肝炎の予防接種について、近年国内の保育所において乳幼児が集団感染した事例、つまり水平感染を起こす可能性が考えられることから見直され、定期接種となったとのことでした。

また、接種時期について生後2カ月以降に1回目を接種し、1回目の接種から2回目は27日以上、3回目は139日以上の間隔を空けて接種することになっているとのことでした。

市民福祉常任委員会 笹川信子 委員長

旧体育文化センターの解体工事、ついに始まる

議第10号平成28年度三条市一般会計補正予算では、下田地域に開設する新たな診療所について、医師確保業務を委託する会社との契約期間は3年であるが、一日も早く確保したいと考えており、場所は開業する医師の診療方法等を踏まえて荻堀地区にある公共施設のいずれかに決定したいとのことでした。

議第12号平成28年度三条市介護保険事業特別会計補正予算では、残高が約13億円となる介護給付費準備基金について、平成30年度からを計画期間とする第7期介護保険事業計画の策定に当たって、要介護認定者数の見込み



等を勘案し、必要な基金残高を確保した上で可能な限り介護保険料の改定に反映させていきたいとのことでした。

議第14号旧体育文化センター解体工事請負契約の締結についてでは、使用されているアスベストの除去について、市としても随時現場を確認するとともに、近隣住民が不安を感じることをないよう説明を行った上で工事を進めていきたい。また、県外にある最終処分場で適正に処分されたことを書面で確認するとのことでした。

経済建設常任委員会 坂井良永 委員長

治水事業に関する負担金は氾濫によって影響が出る範囲に基づき平等に

議第3号三条雨水ポンプ場(機械設備)改築工事請負契約の締結についてでは、雨水施設整備完成時期の目標について、完成時期は決まっていないが、近年局地的な豪雨による浸水被害が増大していることから、雨水計画の見直しを行っている。この中で、何年頃の完成を目標とするのかを含めて検討したいとのことでした。

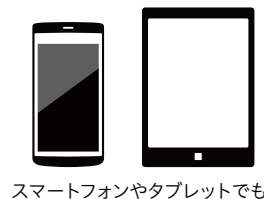
議第10号平成28年度三条市一般会計補正予算では、信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会負担金について、治水事業そのものは国の河川改修事業である。同盟会は国、



県、構成市町がそれぞれ負担する見舞金をいったん集め、それを一括して占用者に支払うものとのことでした。

また、三条市が同盟会に支払う負担金について、今回対象となる場所は、氾濫想定面積や氾濫想定人口が加茂市と三条市にまたがっているため、その割合で負担するとのことでした。

インターネットで 市議会の模様を配信しています



スマートフォンやタブレットでも

定例会や臨時会の本会議の模様は、録画中継でご覧いただけます。

なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。

視聴の方法は



三条市ホームページの **市議会のページ** をクリック
(三条市ホームページのアドレスは <http://www.city.sanjo.niigata.jp/> です。)



さらに **インターネット議会中継** **三条市議会インターネット議会中継トップページ** をクリック



視聴したい会議を選択してご覧ください。
(検索は会議名、議員名、会派名、質問項目を
対象としています。)

市議会の会議の様子を自由にご覧いただけます。

市議会の会議を見たいのですが



各種会議を公開していますので、傍聴できます。

※16歳未満の人は、成人の付き添いが必要です。

次の会議が傍聴できます。

■3、6、9、12月

★定例会(全議員で構成する会議。上程された案件を審議)

上程：会議に議案としてのせること

■必要に応じて

★臨時会(定例会では間に合わない場合に開催し、上程された案件を審議)

★各派代表者会議(各会派の代表者間の会議)

★議会運営委員会(議会の議事運営を協議)

★常任委員会(上程された案件を分野ごとに審査)

[総務文教、市民福祉、経済建設の3委員会]

★特別委員会(特定の案件の調査、研究を行う)

★全員協議会(市政に関する重要な事項等を協議または調整)

★常任委員協議会(常任委員会の所管に関する事項を協議または調整)

★議会報編集委員会(市議会だよりの編集)

開催日は、
市ホームページ、
市議会だより等で
お知らせします。

どこに行けばいいのですか？



定例会や臨時会の本会議は三条庁舎5階、その他は4階です。



三条市役所三条庁舎

三条庁舎正面玄関前

エレベーターで5階または4階へ

傍聴席からの議場

受付簿に記入します

5階議場の場合

エレベーター
を降りて「左」へ

会議の
資料です

7月

- 4日 議会運営委員会
- 5日 広島県熊野町議会視察来条 6名
- 6日 山形県河北町議会視察来条 9名
- 8日 静岡県牧之原市議会視察来条 12名
- 13日 茨城県下妻市議会視察来条 8名
- 14日 愛知県みよし市議会視察来条 9名
- 15日 議会報編集委員会
- 19日 自由クラブ行政視察
～21日(福島県南相馬市、会津若松市、宮城県名取市)
新政クラブ行政視察
～21日(北海道小樽市、旭川市、苫小牧市)
新しい風行政視察
～21日(兵庫県神戸市、徳島県神山町、兵庫県洲本市)
- 20日 三重県四日市市議会視察来条 9名
- 20日 埼玉県八潮市議会視察来条 5名
- 21日 滋賀県東近江市議会視察来条 12名
- 22日 総務文教常任委員協議会
経済建設常任委員協議会
市民福祉常任委員協議会
- 25日 議会報編集委員会
議会運営委員会
- 26日 神奈川県茅ヶ崎市議会視察来条 4名
- 27日 青森県青森市議会視察来条 9名
- 28日 富山県滑川市議会視察来条 12名
- 29日 公民連携定住対策推進自治体連絡会[公明党議員団](東京都)
静岡県長泉町議会視察来条 9名

8月

- 1日 第3回臨時会本会議
議会報編集委員会
福岡県福岡市議会視察来条 17名
- 3日 愛知県津島市議会視察来条 2名
- 4日 兵庫県豊岡市議会視察来条 6名
- 8日 経済建設常任委員協議会
- 9日 豊栄郷清掃施設処理組合議会視察来条 10名
三市議会議員合同研修会(燕市)
- 10日 '16夏 地方政治研究実践講座[公明党議員団](東京都)
愛知県豊橋市議会視察来条 4名
- 17日 兵庫県稲美町議会視察来条 1名

- 18日 福岡県大野城市議会視察来条 7名
- 19日 岐阜県高山市議会視察来条 7名
- 22日 市町村議会議員研修会in長野 ～23日
[日本共産党議員団](長野市)
- 23日 中越地区市議会合同議員研修会(加茂市)
- 24日 宮城県桶谷町議会視察来条 8名
総務文教常任委員協議会
新潟県市議会議長会秋季定期総会(新発田市)
- 25日 市民福祉常任委員協議会
- 29日 議案概要説明会
議会運営委員会

9月

- 2日 議会運営委員会
- 5日 第4回定例会本会議
[決算審査特別委員会設置～委員選任、提案説明]
決算審査特別委員会
- 7日 本会議[大綱質疑～委員会付託]
- 8日 本会議[一般質問]
- 9日 本会議[一般質問]
議会運営委員会
- 12日 本会議[一般質問]
議会報編集委員会
- 13日 市民福祉常任委員会
市民福祉常任委員協議会
- 14日 経済建設常任委員会
- 15日 総務文教常任委員会
総務文教常任委員協議会
- 16日 決算審査特別委員会(市民福祉分科会)
- 20日 決算審査特別委員会(経済建設分科会)
- 21日 決算審査特別委員会(総務文教分科会)
- 26日 決算審査特別委員会
- 27日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 28日 本会議[委員長報告～採決]
議会運営委員会
経済建設常任委員協議会

12月定例会日程

- 6日(火) 本会議[提案説明]
- 7日(水) 本会議[大綱質疑～委員会付託、一般質問]
- 8日(木) 本会議[一般質問]
- 9日(金) 本会議[一般質問]
- 12日(月) 本会議[一般質問]
- 13日(火) 市民福祉常任委員会
- 14日(水) 経済建設常任委員会
- 15日(木) 総務文教常任委員会
- 20日(火) 本会議[委員長報告～採決]

編集後記

爽やかな風とコスモスの花便りの中で編集後記を書いています。世間では、市町村議員の政務活動費の不正使用の問題で、連日マスコミをにぎわしています。

三条市の場合は、各会派の経理担当者および議会事務局でチェックしており、適正に使用されています。8月16日号のさんじょう市議会だよりに掲載されていますので、いま一度お読みください。

【議会報編集委員会】

委員長／野崎正志
副委員長／長橋一弘
野崎久雄 酒井 健 佐藤宗司 小林 誠

発行／三条市議会 編集／議会報編集委員会 責任者／議長 武石栄二
三条市議会事務局
電話：0256-34-5583 Fax：0256-33-8861
http://www.city.sanjo.niigata.jp/ E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp



この印刷物は、
植物油インクと再生紙を
使用しています。